

当財団専門委員による 連載のスタートにあたって

当財団では、実践的学術研究機関として専門性の高い調査研究活動を行うにあたり、外部の有識者に専門委員を委嘱しています。

1965年（昭和40年）、初代の専門委員には伊藤善市先生（地域経済学／東京女子大学教授〔当時〕）、鈴木忠義先生（土木工学・造園学／東京大学助教授〔当時〕）にご就任いただき、「観光産業の経済効果―小豆島における理論的実証的研究」や「観光資源調査の手法」など、今日の観光研究の端緒となる研究についてご指導いただきました。

その後も、心理学、文化人類学、造園学、林学、統計学、経済学、経営学、都市工学、社会学

など多様な分野の方々にご参画いただきながら、

観光研究の深化・拡充に取り組んできました。

現在は13人の専門委員により、幅広い学術分野からご助言をいただいております。

● 本誌『観光文化』では今号より、専門委員それぞれがそれぞれの学術領域から見た観光、あるいはこれまで取り組まれた研究と観光について語っていただく「私の研究と観光」と、これまでの研究生活の中で自身の研究に大きな影響を与えた書籍や論文などを紹介していただく「わたしの1冊」の2つの連載が新しくスタートいたします。

<専門委員>

家田 仁	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授、政策研究大学院大学教授兼任
小田切徳美	明治大学農学部教授
熊谷 嘉隆	国際教養大学地域環境研究センター長・教授
小磯 修二	北海道大学公共政策大学院特任教授
下地 芳郎	琉球大学環境産業科学部教授
下村 彰男	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻教授
土屋 俊幸	東京農工大学大学院農学研究院教授
西村 幸夫	東京大学先端科学技術研究センター所長、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授兼任
西山 徳明	北海道大学観光学高等研究センター長、北海道大学大学院観光創造専攻教授
根本 敏則	一橋大学大学院商学研究科教授
村上 和夫	立教大学観光学部教授
守口 剛	早稲田大学商学部教授
安島 博幸	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授

（五十音順・敬称略）2015年7月現在